

2019年度 私情協 教育イノベーション大会

開催要項

日 時 令和元年9月4日(水)・5日(木)・6日(金)

会 場 アルカディア市ヶ谷(東京、私学会館)

東京都千代田区九段北4-2-25 TEL:03-3261-9921 <https://www.arcadia-jp.org/access/>
JR中央線(総武線)、地下鉄南北線、有楽町線、都営新宿線「市ヶ谷駅」下車 徒歩2分

主 催 公益社団法人私立大学情報教育協会

後 援 文部科学省

テーマ：イノベーションを支える大学教育を考える

開催趣旨

近い将来、あらゆるものがネットにつながるIoT(Internet of Things)の普及やビッグデータの活用により、人工知能(AI)等の技術革新が進展し、様々な分野で産業構造、人々の働き方、ライフスタイルが大きく変化することが想定されています。そこでは分野が融合して新たな社会的価値や経済的価値を生み出す様々なイノベーションが求められ、自分で問題を発見し、解決策に取組み、価値創造にかかわる就業へと、仕事の質の転換が余儀なくされるのではないかと考えます。

それには、日本の人材基盤を抜本的に強化し、市民一人ひとりの多様な「個の力」を組み合わせ、日本全体で新しい価値を創り出していき、大学教育の構造改革が期待されています。

そのような中で昨年度、文部科学省では「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)」を発表し、知識・理解と汎用的技能を文理横断的に身につける教育、論理的思考力を持ち社会を改善していく資質の強化、定員管理、教育手法、施設設備等に関する設置基準の抜本的な見直し、大学等の人的・物的資源の共有とICT活用教育の推進、学修成果の可視化と情報公表の促進などの課題が報告されています。

他方、政府では本年5月「AI戦略」として、将来的に全大学の1学年全員(約50万人)がAIの基礎を学べる体制を目指す方針を固め、文部科学省において今秋、全国共通のカリキュラムを作成するとしており、AI人材の育成促進策について本格的な支援が計画されつつあります。

社会がどのように変化しようとも、自ら考えて目標を定め、課題を設定し、多様な人々と協働して知見や情報を組み合わせ、価値の創造に関与できる資質・能力が求められています。

そこで本大会では、国・社会のイノベーションを支える人材育成の方向性と課題を考察するとともに、教育の質を保証する教学マネジメント、情報活用力の強化を目指した学修、教育改善を目指したICTの活用と効果について探求することにしていきます。

プログラムの枠組み

9月4日(水) **全体会**

9月5日(木) **テーマ別意見交流、大学・企業連携によるICT導入・活用事例の紹介、情報交流会**

9月6日(金) **教育改善を目指したICT活用の発表(発表者リストはWebに掲載)**

		会場: 3F 富士
9:50	<p>開会挨拶 公益社団法人 私立大学情報教育協会会長 向殿 政男 氏</p>	
10:00	<p>【高等教育に対する国の取組み】</p> <p>① 2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)を踏まえた教育改革 必要とされる人材像と高等教育の目指すべき姿として、学修者本位の教育への転換、学びの質保証の再構築(設置基準の見直し含む)を中心に紹介いただきます。 奥井 雅博 氏 (文部科学省高等教育局高等教育企画課高等教育政策室課長補佐)</p> <p>② AI(人工知能)時代の人材育成に向けた政府の戦略と推進・普及の取組み 全ての大学でAIの基礎を学ぶことができるよう、文部科学省として全国共通のカリキュラムを作成し、文系、理系の枠を超えた教育を大学1年生中心に普及を図る戦略・取組みを紹介いただきます。 加賀谷 次朗 氏 (文部科学省高等教育局専門教育課課長補佐)</p>	
11:30	<p>【デジタル時代の人材育成】</p> <p>価値を創り出せる人材の育成 これまで問題解決することがイノベーションとして理解されてきたが、利用者の生活を精神的な面で豊かにする、幸せをもたらす価値が重視されるようになると、経験価値を考えられる・デザインできる「意味のイノベーション」人材が必要となる。 小西 一有 氏 (合同会社タッチコア代表、九州工業大学客員教授、元 NPO 法人 CeFIL)</p>	
12:00	<p>休憩</p>	
13:00	<p>【学生主体教育の仕掛け】</p> <p>学生主体教育としてのSDGs(持続可能な開発目標)活用の取組みと成果・課題 「世代・分野・文化を超えた供創教育」の取組みの一環として、全学部・全学科で学生が自ら考え自ら行動する学生主体教育を世界共通言語のSDGsを活用した社会実装型教育の取組みを紹介いただきます。 平本 督太郎 氏 (金沢工業大学SDGs推進センター長)</p>	
14:00	<p>【大社接続によるAI活用教育の取組み】</p> <p>日本IBMと共同開発した「AI活用人材育成プログラム」の取組み 2019年4月より開講した大学と社会が接続して開発したAI活用人材を育成する教材、シラバス及び授業設計書を用いて、3年間でAI技術を活用して現場の課題解決やサービス・製品を創り出すAIユーザ、AIユーザにソリューションを提供するAIスペシャリストの取組みを紹介いただきます。 巳波 弘佳 氏(関西学院大学学長補佐)</p>	
15:00	<p>休憩</p>	
15:20	<p>【AI技術を取り入れたデータサイエンス教育の取組み】</p> <p>協調学修やプロジェクト型学修を基軸にしたデータサイエンス教育の試み 学生の授業体験価値、汎用能力、専門知識・スキルの学修体験を重視した教育を進め、自ら選んだ未解決な課題や論点をデータ工学やAI工学を活用して、教員のアドバイスを得ながら又は企業や社会と連携して解決することを通じて、新しい価値を創出する文脈的な実践知と体験知の獲得を目指したスマートクリエイティブ人材教育の取組みを紹介いただきます。 上林 憲行 氏 (武蔵野大学データサイエンス学部長)</p>	
16:00	<p>【文部科学省選定の数理・データサイエンス教育強化拠点の取組み】</p> <p>① カリキュラム分科会 数理・データサイエンス教育の標準カリキュラムの提供を通じた全国展開について紹介します。数学基礎、計算基礎、統計基礎、データ管理とキュレーション、データ記述と可視化、データモデリングと評価、データの法規と倫理の7分野について文系も含めた全ての大学生が学ぶべき内容を「学修目標」として公開予定であり、その概要を中心に報告いただきます。 丸山 祐造 氏 (東京大学数理・情報教育センター教授)</p> <p>② 教材分科会 全国的なモデルとなる教材として、教科書シリーズの企画・編纂、各大学のeラーニング教材、講義動画等の統合的配信方法、普及方法などの検討状況を紹介いただきます。</p>	
17:00	<p>竹村 彰通 氏 (滋賀大学データサイエンス学部長、データサイエンス教育研究センター長)</p>	

9月6日(金): 教育改善等のICT活用の発表

発表者リストは8月2日にWebに掲載を予定します。

申込方法 **Webからの申込み**

下記Webの「参加申込み」ボタンを押し、画面表示に従って入力、送信下さい。

http://www.juce.jp/LINK/taikai/taikai2019.htm**FAXでの申込み**別紙の申込用紙に記入の上、送付下さい。 **FAX: 03-3261-5473**

※ 申込内容で当協会が取得する個人情報、次の目的により利用します。「大学名、氏名、所属(学部、部署)」は、当日配布する資料(冊子)に参加者名簿として掲載し、「電子メールアドレス」は、今後の事業案内の連絡先情報として利用します。

申込締切 **8月29日(木)**

※締切日以降の申込や当日申込も受け付けます。

※締切日までに申込まれた方の大学名・氏名は、当日配布資料の参加者名簿に掲載します。

参加費振込 できるだけ8月29日(木)までに振込み下さい。**一括申込みの場合**

振込依頼人名には、大学名(社名)の他にできるだけキャンパス名または部署名を入れて下さい。

個人申込みの場合

振込依頼人名には、大学名と氏名の両方をできるだけ入れて下さい。

振込先

ｼﾞｮｳｷｮｳ (ﾀｲｲﾝｶﾋ)

 りそな銀行 市ヶ谷支店 普通0434635 私情協(大会参加費)
 〒102-0073 千代田区九段北4-1-14 九段北 TL ビル 4F TEL:03-3261-2798

*振込手数料は申込者各自で負担願います。

*銀行のATM機で振込みますと、本協会の口座名義人が上記略称ではなく、本協会の正式名称「公益社団法人私立大学情報教育協会・・・」で表示されますのでご了承下さい。

*9月2日(月)までのキャンセルは、参加費から振込手数料を差し引いた金額を返金します。

それ以降のキャンセルについては、資料代(送料含む)、振込手数料、その他実費(情報交流会申込みの場合)を請求させていただき、後日資料を郵送いたしますので、ご了承下さい。

*キャンセルの連絡は、下記のFAX、メールのいずれかにてお願いします。

参加費 **3日間参加で割引に!** **加盟校 27,000円→21,000円 非加盟校 54,000円→42,000円**

※9月5日「情報交流会」は別途、下記の参加費が必要です。

※9月6日の発表者は、大会期間中の全プログラムに参加可能(申込不要)ですが、9月5日情報交流会は、一般申込み・参加費が必要です。発表者や共同研究者等の参加費についての詳細は下記サイトをご覧ください。

<http://www.juce.jp/LINK/taikai/19happyo/sankahi.htm>

※参加費はすべて税込金額	9月4日(水)	9月5日(木)	9月5日(木) 情報交流会	9月6日(金)
加盟大学・短期大学、賛助会員	9,000円	9,000円	4,000円	9,000円
非加盟大学・短期大学	18,000円	18,000円	4,000円	18,000円

本協会加盟校は右サイトで確認下さい <http://www.juce.jp/LINK/kaiin/univ2.htm>**参加者には、加盟校に限定して当日の発表スライド(許可が得られたもの)を後日閲覧できるようにします。**問い合わせ・送付先 **公益社団法人私立大学情報教育協会事務局**

〒102-0073 千代田区九段北4-1-14 九段北 TL ビル 4F

TEL:03-3261-2798 FAX:03-3261-5473 E-mail:info@juce.jp

http://www.juce.jp/LINK/taikai/taikai2019.htm

9月5日(木)：テーマ別意見交流

		会場：5階 大雪	会場：5階 穂高
9:00 ～ 10:30	<p>【分科会：A】 AI 社会を理解する ※ AI と共存する未来 岸 浩稔 氏(野村総合研究所主任コンサルタント)</p> <p>※ AI を活用した価値創造の可能性と思考のフレームワーク 永井 浩史 氏(富士通株式会社 AI フロンティア事業部長)</p>	<p>【分科会：B】 質保証を確保するための学修成果の可視化 ※ 学修成果可視化と IR への活用－取組みと課題－ 3つのポリシーに照らして適切に実施できているかをアセスメントポリシーに基づいて自己点検・評価するとともに、学生カルテを組み合わせた学生支援型 IR を行い、全学的な内部質保証システムの構築を推進している。 藤木 清 氏(関西国際大学評価センター長、経営学部教授)</p>	
10:45 ～ 12:15	<p>【分科会：C】 AI を適切に利用するための社会原則 ※ 人間中心の AI 社会原則 AI が社会に受け入れられ適正に利用されるため、社会が留意すべき基本原則として、人間中心の原則、教育・リテラシーの原則、公平性、説明責任及び透明性の原則などを政府として策定した。 平野 晋 氏(中央大学国際情報学部長)</p> <p>教育の情報化推進に関する著作権問題 ※ 大学教育における著作権問題 ネットを通じた分野横断型授業展開が日常的になると、第三者の著作物をネット上で利活用することが避けられなくなることから、第三者の著作物の権利を保護する著作権の対応と補償金問題について認識の共有を図ります。 中村 壽宏 氏(神奈川大学法学部教授)</p>	<p>【分科会：D】 ICT 活用による教育改善の取組み ※ 能動的学修支援と学修行動のモニタリングによる学修成果の改善</p> <p>クラウド技術を活用しながら電子シラバスで授業の到達目標や事前・事後の学修課題などを一括提示し、学修行動をモニタリングして学修成果をフィードバックすることにより学生・教員に振り返りが可能となり、主体性の育成につながる教育改善が可能となった。 二瓶 裕之 氏(北海道医療大学情報センター長、薬学部教授)</p>	
12:15 ～ 12:45	<p>大学・企業連携による ICT 導入・活用事例(ポスターセッション)の概要紹介 アクティブ・ラーニング、LMSシステム、ラーニングコモンズ、ポートフォリオシステム、IRシステム、 教学マネジメントシステムなど</p>		
12:45	休憩		
14:00 ～ 15:30	<p>【分科会：E】 大学・地域社会連携に ICT を活用した取組み ※ 3大学9歯科医師会が連携した ICT 活用による歯学教育プログラム実践の効果</p> <p>3大学で開発した ICT 教材で自己学修を行い、テレビ会議を用いて3大学で相互に地域医療実習を説明し合い地域医療を考察する。eラーニングによる3大学共通試験でプログラムを見直すとともに、医療実習の到達度を外部評価委員で確認し、歯科医師会から教材や本システムについて意見を取り入れている。 片岡 竜太 氏(昭和大学歯科医学教育推進室主任教授)</p>	<p>【分科会：F】 社会で求められる情報活用能力の育成に向けたモデル授業の理解と実現に向けた対応策の考察</p> <p>「社会で求められる情報活用能力育成のガイドライン」の見直し案を提示し、方向性を確認するとともに、モデル授業のシナリオについて協議します。 また、専門科目との連携モデルの更新、研究プラットフォームの構築についても協議することになっています。</p> <p>※ ガイドラインの到達目標の一つを下記に変更した。 「情報通信技術の現状と可能性を考察し、論理的思考に基づき、価値創造に向けて必要となるIoT、モデル化、データサイエンス、AIなどの知識・技能を活用できる。」</p> <p>本協会情報教育研究委員会 情報リテラシー・情報倫理分科会 分野別情報教育分科会による合同で対応</p>	
15:45 ～ 17:15	<p>【分科会：G】 アクティブ・ラーニングに ICT を活用した取組み ※ TED を活用したアクティブ・ラーニングで Global Issues を学ぶ</p> <p>平和・人権・環境など地球規模の問題への理解を深めるため、英語動画スピーチの TED を素材にして反転授業を行い、LMS を活用して事前学修と事後省察を共有化することにより、新しい知見に気づく機会を設けている。 前田 幸男 氏(創価大学法学部教授)</p>		
17:30 ～ 18:30	<p>情報交流会</p>	<p>※参加費 別途 4,000 円が必要です。</p>	<p>会場：4F 鳳凰</p>
12:30 ～ 17:00	<p>大学・企業連携による ICT 導入・活用事例(ポスターセッション) アクティブ・ラーニング、LMSシステム、ラーニングコモンズ、ポートフォリオシステム、IRシステム、 教学マネジメントシステムなど</p>		
			<p>会場：5F 廊下</p>

9月6日(金):教育改善等のICT活用の発表

発表者リストは8月2日にWebに掲載を予定します。

申込方法 **Webからの申込み**

下記Webの「参加申込み」ボタンを押し、画面表示に従って入力、送信下さい。

http://www.juce.jp/LINK/taikai/taikai2019.htm**FAXでの申込み**別紙の申込用紙に記入の上、送付下さい。 **FAX: 03-3261-5473**

※ 申込内容で当協会が取得する個人情報、次の目的により利用します。「大学名、氏名、所属(学部、部署)」は、当日配布する資料(冊子)に参加者名簿として掲載し、「電子メールアドレス」は、今後の事業案内の連絡先情報として利用します。

申込締切 **8月29日(木)**

※締切日以降の申込や当日申込も受け付けます。

※締切日までに申込まれた方の大学名・氏名は、当日配布資料の参加者名簿に掲載します。

参加費振込 できるだけ8月29日(木)までに振込み下さい。**一括申込みの場合**

振込依頼人名には、大学名(社名)の他にできるだけキャンパス名または部署名を入れて下さい。

個人申込みの場合

振込依頼人名には、大学名と氏名の両方をできるだけ入れて下さい。

振込先

ｼﾞｮｳｷｮｳ (ﾀｲｲﾝｶﾋ)

 りそな銀行 市ヶ谷支店 普通0434635 私情協(大会参加費)
 〒102-0073 千代田区九段北4-1-14 九段北 TLビル4F TEL:03-3261-2798

*振込手数料は申込者各自で負担願います。

*銀行のATM機で振込みますと、本協会の口座名義人が上記略称ではなく、本協会の正式名称「公益社団法人私立大学情報教育協会・・・」で表示されますのでご了承下さい。

*9月2日(月)までのキャンセルは、参加費から振込手数料を差し引いた金額を返金します。

それ以降のキャンセルについては、資料代(送料含む)、振込手数料、その他実費(情報交流会申込みの場合)を請求させていただき、後日資料を郵送いたしますので、ご了承下さい。

*キャンセルの連絡は、下記のFAX、メールのいずれかにてお願いします。

参加費 **3日間参加で割引に!** **加盟校 27,000円→21,000円 非加盟校 54,000円→42,000円**

※9月5日「情報交流会」は別途、下記の参加費が必要です。

※9月6日の発表者は、大会期間中の全プログラムに参加可能(申込不要)ですが、9月5日情報交流会は、一般申込み・参加費が必要です。発表者や共同研究者等の参加費についての詳細は下記サイトをご覧ください。

<http://www.juce.jp/LINK/taikai/19happyo/sankahi.htm>

※参加費はすべて税込金額	9月4日(水)	9月5日(木)	9月5日(木) 情報交流会	9月6日(金)
加盟大学・短期大学、賛助会員	9,000円	9,000円	4,000円	9,000円
非加盟大学・短期大学	18,000円	18,000円	4,000円	18,000円

本協会加盟校は右サイトで確認下さい <http://www.juce.jp/LINK/kaiin/univ2.htm>**参加者には、加盟校に限定して当日の発表スライド(許可が得られたもの)を後日閲覧できるようにします。**問い合わせ・送付先 **公益社団法人私立大学情報教育協会事務局**

〒102-0073 千代田区九段北4-1-14 九段北 TLビル4F

TEL:03-3261-2798 FAX:03-3261-5473 E-mail:info@juce.jp

<http://www.juce.jp/LINK/taikai/taikai2019.htm>